

鹿児島県医師連盟 FAX ニュース

編集・発行 鹿児島県医師連盟 TEL : 099 - 213 - 1011 FAX : 099 - 213 - 1012

7月10日投票の参院選挙比例代表

全力で、自見はなこ氏支援を

任期満了に伴う参議院議員選挙は、22日に公示、7月10日に投・開票が行われる。鹿児島県医師連盟(池田琢哉委員長、800人)は、新人の自見はなこ氏(40)を推薦しており、組織を挙げて、支持拡大を図っている。

自見氏は、日本医師連盟の組織内候補で、現在日本医師連盟参与。自民党の公認候補として、比例代表に立候補する。長崎県佐世保市生まれで、祖父も医師、親戚や弟も医師の医師一家。筑波大学第三学群国際関係学類、東海大学医学部を卒業後、東京大学の小児科に入局。関連病院の虎の門病院小児科に勤務し、国会議員秘書を経て現在に至っている。

政治家を志したのは「この国の医療・介護を守り、向上させたい。私心のない強固な架け橋になりたい」との強い思いからで、公募に応じ、その中から候補者に選ばれた。

これまで精力的に全国を遊説するなかで、鹿児島は7回訪れた。離島も

回り、医療にかける情熱や、その明るく、誠実な人柄は医療関係者だけではなく、有権者からも高い評価を得ている。

日本医師連盟の横倉義武委員長は自見氏について「この人ならと、絶対の信頼をおいて送り出す候補だ。」と述べている。

鹿児島県医師連盟では、サポーター名簿の獲得を始めとして、ポスターやパンフレットの配布に組織を挙げて取り組んでいるが、浸透がまだまだ十分とは言えない。サポーター名簿の数は結果と密接に繋がるだけに、獲得への最後の努力が求められる。

公示前日の6月21日夜には、鹿児島県の医療関係団体による「自見はなこ氏総決起大会」が県医師会館で行われ、自見氏も駆けつけ、一致団結しての戦いを決意する。

池田委員長は「少子高齢化を迎え、医療構造は大きく変わろうとしている。医師会の意思を政治に反映させるため、さらなる支援をいただきたい」と檄を飛ばしている。

(文責・事務局)